

議案 No.22

池ノ原会館の指定管理者を公益財団法人華山会に決定

施設管理の合理化に向けた工夫の提案内容は。

現行の呈茶サービスの時間帯の見直し、また会館利用予定のない日の勤務体制を再編成して管理業務を効果的かつ合理的に執行できるように、必要十分な人員配置を行う。

(3/6 文教厚生委員会)



議案 No.23

平成28年度一般会計補正予算(第5号)

補正額 1205万円

補正後の額 308億4007万円

主な内容

- ・事業の実績見込みによる経費の増減や財源更正
- ・土地開発公社等からの用地の買戻し

(表示単位は万円未満切捨て)

障害者福祉費は、毎年補正予算が出てくるが、もっと精度をあげて当初予算をつくることはできないのか。

支給対象者の転出等により予算が余ったり、福祉事業所の新設により不足するなど、どうしても違った実績となって、補正予算が必要となる。

議案 No.28

平成29年度予算審査

一般会計

税金について

法人市民税の減が23億4000万円

円と大きく見込まれる理由は。

主な理由は、円高の影響を受けた自動車関連企業が減益となったこと。

固定資産税は、平成23年度の東京製鐵進出以来、だんだん減ってきている。固定資産税の増加に向けた取り組みは。

固定資産税の中で3分の1を占める償却資産に対し、設備投資のための税の優遇措置を市条例で定めている。中小企業活性化支援や、企業誘致活動事業による取り組みも、増収につながるため、関係部

局と連携をはかって進めていく。

母子保健事業

初産妊婦全戸訪問がスタート

東三河初の実施ということだが、期待される事は。

妊娠期から支援することでタイミングよくサービスをつなげることができ、少子化対策にもつながると考えている。



担い手支援事業

農家の女性に特化した婚活事業

人口流出を防ぐという意味で、女性を中心とした婚活事業の状況は。

農業委員会で、市内の農家の女性と、市外・県外の男性による交流会を実施。16名が集まった。

高木住宅整備事業

建て替えに向けた現在の状況は。

清田校区の役員・自治会の方と協議等をしている状態。

シティセールス推進事業

ナゴヤドームで市をピリアル

予算はどれくらいを見込むか。

ポスターの掲示や、ドアラの商標権を含め540万円を予定している。

交通安全啓発事業

高齢者の免許証自主返納者にぐるりん

バスの1年間無料乗車券等を支給

支援を1年とした理由は。自主的に返納するきっかけづくりの事業で、本市では、福祉タクシ-券の制度等も確立しているため。

斎場整備事業

2斎場を統合、田原斎場を建て替え

新しく購入する土地代・造成代も含めて15億円という報告もあったが、それくらいを予定しているのか。

15億円は数年前の全国平均の単価から出した試算額。現在基本計画策定中であり、金額は変動があると考えている。